

福祉のPR活動

鎌倉市社協では、かまくら社協だよりやリーフレット、ホームページ、SNSなどにより、社協の取り組みや様々な福祉活動・制度などについて広報を行っているほか、福祉イベントや学生向け福祉教育の場においても福祉のPRを行っています。

鎌倉福祉まつり

例年9月の第一日曜日に開催している「鎌倉福祉まつり」は、福祉関係者や一般市民が集い、福祉意識の醸成を図るとともに福祉のPRの場として開催されており、模擬店やバザーの他、福祉の体験コーナーや災害被災地支援コーナーが設置され、多くの人々に楽しまれ毎年3,000名前後の参加者があり、収益金をボランティア団体等へ活動費として配分しています。

今年は残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。来年開催の折にはぜひご来場いただき多くの人たちと交流していただければと思います。(掲載写真はいずれも過去の「鎌倉福祉まつり」の様子です)



地域福祉推進感謝の集い

地域福祉活動は地区社協、民生委員児童委員、福祉関係機関やNPO団体、福祉当事者団体、ボランティアの手によって支えられています。「地域福祉推進感謝の集い」は鎌倉市の地域福祉に尽力された方々の功績を讃えるとともに、その活動の輪が広がることを祈念して毎年11月に開催されます。

今年の「地域福祉推進感謝の集い」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、社会福祉功労者に対する表彰は行います。なお、今年度の受賞者は本紙1面に掲載されています。

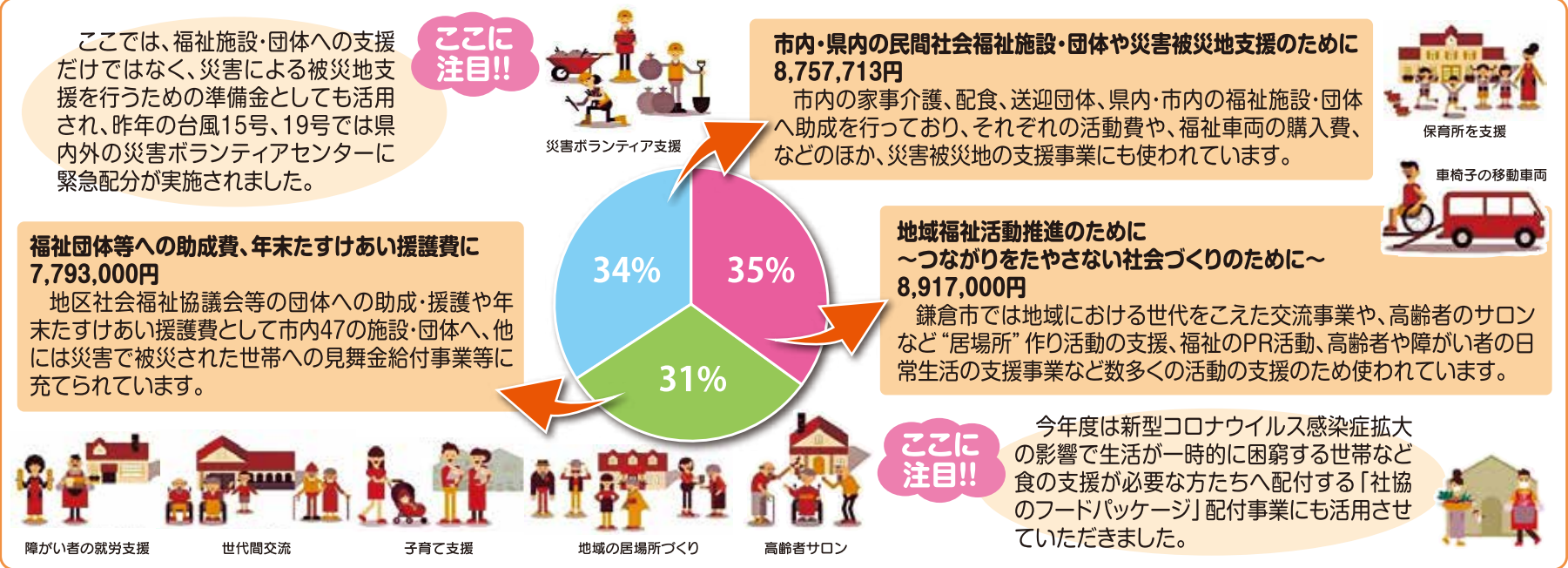


赤い羽根共同募金とは

赤い羽根共同募金は昭和22年から始まった募金運動で、都道府県ごとに共同募金会を置き、毎年、10月1日から3月31日まで、全国一斉に実施されます。ご協力いただいた募金は各地域内で、地域福祉の推進を図ることを目的に、わたしたちのまちや暮らしを良くするために使われます。鎌倉市の共同募金活動は、鎌倉市社会福祉協議会内に事務局を設置して行っています。

集まった募金は、これまで民間福祉活動を支える重要な財源として多くの施設、団体の活動を支援するとともに、地域で行われるさまざまな福祉活動、豪雨災害などの被災者支援活動に使われています。「困ったときはお互いさま」の気持ちから始まった赤い羽根の募金活動。今年も皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

共同募金の使い道【※金額は令和元年の募金額25,467,713円の使い道です】



なぜ共同募金には目標額があるの

今年度の鎌倉市の共同募金目標額は27,390,000円となっています。社会福祉法で目標額を定めることとなっていますが、「募金なのになぜ目標額があるのか」という質問を受けます。

共同募金は、集まった寄付金を単純に配分しているのではありません。都道府県共同募金会において、施設や団体から法律や制度では対応できない事業等に予算を充てるため「どのくらいの募金額が必要なのか」を把握します。その必要性、緊急性などを考慮し、寄付者の方々に納得いただけるよう配分計画をたて、その計画額を目標額として行う募金です。言い換えれば、目標額は、最小限度、これだけは是非必要だという金額になります。



運動中心で充実の機能訓練を提供するデイサービス



↓ 鎌倉の地に2店舗ございます ↓

お陰様で創設10周年!!
鎌倉由比ガ浜店
☎0467-38-3035

今年6月にOPENしました!
西鎌倉店
☎080-5018-2046

いつまでも自分の脚で歩くために楽しく運動を!!
新型コロナ感染症対策を徹底してお待ちしております。
※事業対象者・要支援・要介護の認定を受けている方が対象。詳細はお問合せ下さい。

『絵画・掛軸・骨董品』処分の前にお電話ください

090-3409-5287 代表者細川へ直通
営業時間 8:00-20:00



掛軸1本、茶碗1個から喜んで
鑑定・買取いたします!
聞いてみるだけ大歓迎!

お買取品目の例
絵画・陶磁器・置物
書道具・切手・古銭
茶道具・鉄瓶・銀製品
神奈川県鎌倉市笛田2-11-9
マルミ工芸社 代表 細川賀津雄